

- page 1 -

## ウサギを用いた眼刺激性試験

### 依頼者

アサヒプリテック株式会社

### 検体

アクアプロ21Rによる生成水

### 試験実施期間

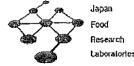
平成11年9月6日～平成11年10月15日

### 試験実施場所

財団法人 日本食品分析センター 多摩研究所  
東京都多摩市永山6丁目11番10号

### 試験担当責任者

財団法人 日本食品分析センター 多摩研究所  
安全性試験部 安全性試験課



- page 2 -

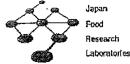
### 要約

アクアプロ21Rによる生成水を検体として、Federal Register(§ 163, August, 1978)に準拠し、ウサギを用いた眼刺激性試験を行った。

試験動物をⅠ群(非洗浄群6匹)及びⅡ群(洗浄群3匹)に分け、片眼に検体、他眼に対照として原水(水道水)を0.1 mL点眼した。その後Ⅰ群は非洗眼とし、Ⅱ群は30秒後に1分間眼洗浄を行った。その結果、Ⅰ群(非洗浄群)では点眼後1時間に2例の試験眼及び対照眼で眼瞼結膜の発赤が見られたが、24時間に消失した。Ⅱ群(洗浄群)では点眼後24時間に2例の試験眼及び対照眼、48時間に1例の試験眼、72時間に1例の対照眼で眼瞼結膜の発赤が見られたが、4日以降には刺激反応は見られなかった。

観察結果から得られた試験眼及び対照眼の平均合計評点の最高値(点眼後24時間以降)は、Ⅰ群では試験眼及び対照眼ともに0、また、Ⅱ群では試験眼及び対照眼ともに1.3(点眼後24時間)となつた。

以上の結果から、検体はウサギを用いた眼刺激性試験において、「無刺激物」の範疇に入るものと認められた。



- page 8 -

表-5 合計評点の経時的推移及び眼刺激性の評価(Ⅰ群)

試験動物	各観察時間における合計評点					
	1時間	24時間	48時間	72時間	4日	7日
①	2(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
②	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
③	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
④	2(2)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
⑤	0(2)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
⑥	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
平均合計評点	0.7(0.7)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
眼刺激性の評価	無刺激物					

括弧内に対照眼の結果を示した。

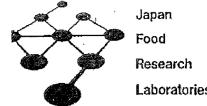
点眼後1時間の採点結果は評価に含めなかった。

表-6 合計評点の経時的推移及び眼刺激性の評価(Ⅱ群)

試験動物	各観察時間における合計評点					
	1時間	24時間	48時間	72時間	4日	7日
⑦	—	2(2)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
⑧	—	0(0)	0(0)	0(2)	0(0)	0(0)
⑨	—	2(2)	2(0)	0(0)	0(0)	0(0)
平均合計評点	—	1.3(1.3)	0.7(0)	0(0.7)	0(0)	0(0)
眼刺激性の評価	無刺激物					

括弧内に対照眼の結果を示した。

— : 点眼後1時間では眼洗浄の影響が残るため、結膜の発赤は採点せず。したがって合計評点も算出しなかった。



## 試験報告書

第 299080377-001 号

依頼者 アサヒプリテック株式会社

検体 アクアプロ2IRによる生成水

試験項目 ウサギを用いた眼刺激性試験

平成 11 年 08 月 19 日 当センターに提出された  
上記検体について試験した結果は次のとおりです。

平成 11 年 10 月 15 日

財団法人  
日本食品分析センター

東京本部 〒106-0062 東京都港区元代々木町52番1号  
大阪支所 〒550-0044 大阪府茨田市豊津町3番1号  
名古屋支所 〒460-0044 名古屋市中区大須4丁目5番13号  
九州支所 〒812-0034 福岡市博多区下呂服町1番12号  
多摩研究所 〒206-0025 東京都多摩市冰山6丁目11番10号

本報告書を他に掲載するときは当センターの承認を受けて下さい。